

# イヤな仕事も断れないからこそ…死刑廃止を！

## 元刑務官の方のお話

### 死刑について考えてみませんか

東京拘置所のそばで死刑について考える会（そばの会）  
東京都荒川区南千住 1-59-6-302

私たちは「東京拘置所のそばで死刑について考えてみませんか」と呼びかけているわけですが、大阪拘置所のそばでも、同じような取り組みを、私たちよりずっと長く続けている「かたつむりの会」というグループがあります。

死刑の執行がされそうだと、いう時期になると、大阪拘置所のまわりを、「死刑の用心、死の用心……」と言いながら歩くそうです。官舎に向かって「刑務官のみなさん！ イヤな仕事は断ろう！ 執行命令断ろう！」と呼びかけたりもしています。

その会が発行している通信（『死刑と人権』120号）に、死刑に立ち会ったこともある元刑務官の方を招いての学習会の記録が紹介されていました。

その方がこんなお話をしています。

★ ★ ★

「…私は役所の中で殺す刑だけはやめてもらいたいということなんです。規則を守っておとなしくして、そりゃあ過去には悪いことをしたかもしれませんが。そういう人をね、昼日中、役所で、公務と称して人殺しをする。役人の立場になって見てくださいということなんです。被害者は、憎むべき男ですと、死刑囚をにらむでしょう。では、その被害者に、殺してくださいと言ったら殺しませんよ。やっぱり、いやなんです。人がやってくれるからそういうことを言うんです。だから、死刑は廃止すべきではないと言う人もね、自分が執行する立場じゃないからなんです。人がやってくれると思うからそういうことを言うんです。しかしね、やる身の立場になってくださいよ…」

★ ★ ★

そして、「私たちは嫌な仕事は断ってくださいと呼びかけているのですが…」という質問に、「それはできませんわ。おたくさんの気持ちはわかりますよ。…職員の苦しみはやらなくちゃあならないからの苦しみなんです。おたくさんの言うようにできるんなら苦しみませんよ。おたくさんの言う気持ちは逆に職員を苦しめることになるのですよ。分かってくれますか。世の中にはそういうことたくさんあるんです。…弱い者いじめみたいになってしまいますよ。できないことを要求するんだからね。喜んでやってんのと違いますで」

と答え、法律が改正され死刑が廃止されることを望んでおられます。

東京拘置所の職員の方々も同じ思いを持ちながら、勤められているのでしょうか？

[桜を観ながら死刑について考えるつどい]

日時 3月31日（日曜）午後2時過ぎから（雨天中止）

場所 北綾瀬駅隣「しょうぶ沼公園」にて

※ただのお花見です。お気軽に声をかけて下さい。差入れはもちろん！ 歓迎。

大阪の人たちも3月24日に「大阪拘置所のそばで桜を観るつどい」をやるそうです。